

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいない項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境下に入浴・排泄等の介護 その他の日常生活上の世話 機能訓練 健康管理及び療養上の世話を行う。	○	家庭的な雰囲気の中での専任の職員と共にリラックスした生活を送れるよう支援している
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護の現場において 運営理念 目標を具体化し察母室に掲示し 自覚意識を高めるようにしている	○	人間的に尊厳・プライバシーを大切に 楽しく生きがいのある毎日を送るため よう対応している。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議、家族会議を行い その中を話している		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	家族や友人が気軽に訪問 時は居心地よく過ごせるような雰囲気 作っている。来やすい雰囲気 歓迎 関係構築の 支援に心がけている		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者それぞれの状態にあわせて移動 に配慮し 戸外に出る楽しみめるよう働きかけ 行事以外でも 自然な形で外出の機会 作りに取り組んでいる	○	なるべく外に出る下機会を作り 普段の生活の中からも戸外に出る ようこれからも対応する

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	年に1回全体研修を行っている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	職員の意見・提案を聞けるように職員との関係を密にしていきたい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者に対して十分な説明を行い理解していただくように努めている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ユニットケア、グループホームでの研修受講 その他職員の経験や能力に応じた必要な研修が受けられるよう体制を作っている		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	併設施設との合軌行事交流会がある。ケアの方法についても理解があり連携が図られている		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的に上司に相談した小話をする機会を作り、リフレッシュとストレス解消に役立てている	○	職員のストレス解消する為に相談・意見交換などを行う時間を作っている
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	社会人として広い視野での物事のとらえ方、日々の実践を学ぶ機会として活かせるよう軌跡づけと日々の助言指導 管理者が日常的にしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	挨拶を欠かさず目線を合わせて行い言葉を交すように努めている	○	コミュニケーションを取ることにより安心する穏やかな環境作りに心がけている
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	普段より面会時に声をかけ家族が気がねなく意見や要望が伝えられる雰囲気作りに努めている	○	家族の方が見えたり怖しそうに動き回らさず、ゆくりと話しを聞く態度を心がけていないように心がけている
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族が困っている事をよく聞き協力していけるようにお互いに話し合い支援している	○	家族が言いづらそうな内容の場合は、違う角度から話しし特別な事ではない事を伝えるように心がけている
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設での混乱や不安を防ぐ為又適切な支援を行う為に必要な情報を提供している	○	家庭的な生活環境の下で心身の特性を踏まえ入居者の認知症状の緩和や悪化防止を図り自立した生活を送れるようサポートしている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩」に対する対応を基本とし入居者個人の能力に応じたさりげない介助支援に配慮がされている	○	人間は誰しも同じ様に老いることなので年を取ることへの素晴らしさ、大変さなどを話すようにしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に明るい雰囲気を意識的に 入居者と共に作っているが哀しみや怒りを 訴える場面も否定せず受容の態度で接している		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者一人ひとりの生活水準が違っていると 認識しそれぞれの生活の質を 継続していく為に住居歴や経歴等を 考慮し対応に取り組んでいる		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者それぞれの状態にあわせて移動 に配慮し気の合う同士が好きな様に 過ごす機会作りに取り組んでいる		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者の不安定な感情の変化も柔軟な 対応で受容し共同生活における自由 を確保できるように努めている		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病院や他施設等移り先での混乱や 不安を防ぐ為十分な情報を提供し 家族と連絡を取り合っている	○	TEL・手紙等で連絡を取り合っ ている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意志を尊重しできるだけ その人の生活リズムを崩さないように 努めている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個別のケース記録など可能員が いつでも読めるようにし可能員どうしが 情報の共有をできるよう努めている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の流れの中で生活のあらゆる場面において どのような場面の中でそれぞれが活躍できる か把握し入居者が自信をもって継続して行える ようさりげなく言葉がけしている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族の意見を採り入れる必要 性を意識し問題となる行動に限らず 日常生活でできることを継続していくこと 自立に向けた介護計画作成に取り組んでいる	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化に添った随時の見直しを 行い、家族にも面会時、毎月の手紙を 報告している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	持病により必要な医療機関への受診を支援している		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	加療医療機関の受診がおり、随時助言や指示をいただいている		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日の内服管理、バイタルチェックの他、精神面の変化も考慮し看護婦と協働で健康管理に努めている	○	常勤看護師(1名)により入居者の健康管理の充実を図っている
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院に向けて退院の見込みについて家族と交えて医療機関に何れも働きかけをしている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	寝たきり状態あるいはそれに準ずる状態になった場合、家族・協力病院との連携を密に取り対応している	○	入居者の意思あるいは人格を尊重するとともに家庭的な環境のもとで介護従事者が全員で取り組んでいきたい
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居者・家族との結びつきを重視し、今後の課題として家族の意向も下相談に応じ、重度化や終末期に向けたケアが入居者のニーズに全せ対応できるように検討している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	本人にとって他施設等移り先での 混乱や不安を防ぐ為又適切な支援が 継続されるために十分な情報提供 をしている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	プライバシーに係わる内容の話や支援 は、他利用者の目の届かない場所か するよう努めている	○	一人ひとりの自尊心を一番に考えもし 自分がその立場になったらと常に考え 取り組んでいる
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	自己決定や支援のための説明をし 納得して頂けるよう支援している	○	信頼関係を結び 行事不安なこと があれば伝えやすいように 身近な存在に なるよう努めている
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	入居者の生活リズムに合せ、その 希望に添えるよう声掛けし、その人らしい 生活を送れるように支援している	○	細々の体調や気分を尊重した支援を 心掛けている
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている	なるべく本人に整容して頂いている 家族対応で馬川梁の美容室を利用している 入居者一人ひとりの希望により 利用の頻度も 髪型もそれぞれである。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けを協力してもらっている。 食事の際の声を工夫し楽しく召し上がるよう努めている	○	管理栄養士の立てた献立表による身体状況に配慮した、食事の提供に取り組んでいる
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好みを大切になるべく本人から何が食べたいか、何が好きなかなど機会がある度に伺い込むようにしている	○	皆さんに好きな物を食べてもらえるように注文したり、買い物に行く等している
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄において自立させている方への確認、失敗のあった方への対応も周囲や差支の心配慮し、声かけや指導している	○	利用者の生活リズムに合わせて、援助を行っている
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望に合わせて「つらい」「窮屈」気味の入浴をより健康状態を考慮し対応している	○	入浴を嫌う方は、何が原因なのかを聞き、本人が入浴の気持ちになるように声かけに工夫し、安心感をもってもらうべくゆっくり入浴して頂くよう支援している。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠に薬剤に頼らず、就寝に向けてリズムが安定できるように取り組んでいる		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活場面での役割や出番が入居者自ら見い出せるような場面作りが行われている	○	利用者一人ひとりの能力に合わせて探し、日々の生活の中、役割を持ち協力し合いながらゆくり暮らしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方には、財布を持たせられている。 細々の能動的な支援を行っている		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ、ショッピングは、本人の希望がみれば、いつでも行けるように支援している		戸外に出かける喜びを感じられるよう日常的に外出支援している
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の品物もありお魚、お彼岸の墓参り、墓掃除等出かける機会作りに取り組んでいる		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話を利用して主に家族への自由なおしゃべり、手紙の投函等が利用者に配慮し気軽にできるように努めている		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪ねて下さるよう手紙や声掛けで支援している お茶を飲んだらリラックスして話せるようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会、全体研修を通い理解している 具体的な行為を記した紙をケ室内に貼りいつでも確認できる		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>夜間は利用者の方が戸締りを要求したり自ら戸締りして安全確認に協力している</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>ケア同志が声掛け合い馬鹿な事なく利用者の方々に監視されているという戸カを感じさせないよう対応している</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>異食行為のある方、小さい物は、口の中に入れてしまうため見守り、居室には、小さい丸い物は置かない工夫をしている</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	異変時は「ささいな事でもその都度 家族に連絡して対応を相談の上 決定している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定を行い小さな変化に おいても常に職員間で情報を提供し異常の 早期発見に留意した観察がされている		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	内服管理において正しく服薬できるよう 医師・家族と連携を密にし状況の変化 を伝えている	○	ケース会議の時に薬の目的量について 看護師より説明している
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日下剤を内服している方も居るが体調 管理において適切な水分補給 散歩など より便秘を予防する取り組みをしている		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	一人ひとりの口腔状態や力に応じた 毎日のうがい 個別対応し支援している (声掛け、一部介助)		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士の作成した献立に 基き居る者の状態に応じて調整栄養 師にも助言を得ながら支援している	○	バラバラの食事個々の状態に応じた 食事の提供がされている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗対応についてマニュアルがあり実践している 研修会等を通して学び予防の実行に努めている		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食調理器具を洗い清潔保身に努めている 毎朝その日に使う食材を届けてもらっており 新鮮で安全である		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりを見て受けが印象は、重要であるという認識を入居者・職員が持ち、常に配慮された雰囲気作りがされている。 季節の花や写真を飾っている	○	季節の草花を育て玄関前においている ポスター・カレンダーを貼っている 暖かい時の憩いの場になるよう炬燵を常備している
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	物品や調度品がさりげなく使い古された物や馬刺梁みのある物を用意し家庭的な雰囲気と配慮した生活空間作りを努めている	○	季節の花を飾っている 季節感のある飾りや貼紙(ちぎり絵)がいっぱいある
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室以外に入居者それぞれが思い思いの居心地のよい場所が見い出せるよう空間を活かして居場所を確保している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	使い慣れた家具を生活用品を持ち込み なるべく個室で生活していた部屋を再現 できるよう家族と協力のもと安全に配慮 し行っている	○	本人や家族と相談しながら工夫 した居室空間になっている
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	空気のおよみがないよう常に適切な 換気がされている 冷暖房に頼り過ぎず入居者一人ひとりに 合った温度調節もされている	○	換気のため窓を開けたり天窓の開閉 も利用している
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	入浴の場面において特に転倒の可能性 が考えられる床に風呂巾着マットを使用し 対応している		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	家庭的な雰囲気の中で食事の支度や掃除・洗濯 等利用者や職員が一緒に協同生活を行い その有る能かに応じ自立した日常生活を 営めるよう援助している		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	屋外に出て興味を持って活動できるよう 物品が用意された空間が活かされている	○	外廻りに草花を置いたり洗濯物・ 布団等が干せるような物干し場がある

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98 職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・認知症の高齢者に対し、日常生活における適切な援助を行うことで認知症の進行を穏やかにし問題行動を減少させ精神的に安定して健康で明るい生活を送れるような支援を実践している
- ・排せは、本人の能力を活用し、自立に向けた介護を実施している
- ・利用者の健康管理および医療を必要と認めた場合の適切迅速な措置